

指定管理業務評価表

施設名	小牧市ふれあいの家（心身障害児通園施設あさひ学園）		
対象年度	令和2年度	評価担当部	福祉部
指定管理者名	社会福祉法人小牧市社会福祉協議会 （法人番号 1800-05-008384）		
指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員：9人 非常勤職員：11人 合計：20人		

1. 利用実績

(1) 利用者数(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	昨年度比
利用 人数	あさひ	31	60	420	513	398	533	503	478	351	428	507	446	4,668	102.8%
	あすなろ	0	14	91	53	41	93	103	110	102	88	74	141	910	83.8%
	計	31	74	511	566	439	626	606	588	453	516	581	587	5,578	99.1%
1日 平均	あさひ	31.0	12.0	19.1	25.7	23.4	26.7	22.9	25.2	23.4	26.8	26.7	26.2	24.2	-
	あすなろ	0.0	3.5	5.7	5.9	5.1	5.8	6.1	6.1	7.3	8.0	7.4	8.3	0.0	-
	計	31.0	15.5	24.8	31.5	28.5	32.5	28.9	31.3	30.7	34.8	34.1	34.5	31.0	-

(2) 増減要因

新型コロナウイルス感染症拡大防止による休園等の影響のため、利用人数が減少した月があるものの、休園のない月は増加傾向にあり、年度合計は前年からほぼ横ばいとなった。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	1回目：8月1日から8月31日 2回目：1月4日から1月31日	回答数	66人／93人 80人／107人
アンケート 結果の 概要等	<p>満足度は「満足」83%（前年82%）、「概ね満足」17%（前年17%）となり、前年同様、高い評価を得ている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策についても、回答者全員が「安心できる」「概ね安心できる」と回答しており、十分な対策が実施されている。自由意見についても、新型コロナウイルス関連の意見が多かった。主な意見は以下のとおり。</p> <p>① 今後もコロナ対策、感染予防をしっかりとお願いします。体温測定は現地で測った方が安心できるかもしれません。</p> <p>② コロナの関係もあり、なかなかクラスのお母さんと話すことができず残念です。また、お昼寝も規制があり、他のクラスのお母さんと話す</p>		

	<p>機会も減り、いろんな係があるときに、他のクラスのお母さんと連携が難しく、すごく大変でした。コロナのなかなので、あまり係を母親にやらせるのは負担が多いと思います。</p> <p>③ 摂食訓練や言語のリハビリのようなことができれば良いと思う。健常児とふれあう機会が欲しい。</p>
具体的な対応状況	<p>利用者のすべての自由意見に対して丁寧に回答されており、必要に応じて改善策や運営の変更等が検討され、実行されている。</p> <p>上記「アンケート結果の概要等」にある主な意見に対する施設の回答は以下のとおり。</p> <p>① 玄関での混雑（密集）緩和のため、現在の方法で実施を計画しました。ご協力よろしくお願いします。また、コロナ対策につきましては、可能な限りの方法で実施してまいります。</p> <p>② 今年度はコロナ禍で、例年通りできないことがたくさんありました。特にあさひ学園で大切にしているお母さん同士のコミュニケーションの場がなかなか作れず、係活動でご負担をお掛けした点につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>③ 当園では、専門療法の先生や遊びの中で「食べる力」や「ことばの力」を育てています。また、今年度はコロナ禍で実施できませんでしたが、第一幼稚園の園児たちと交流保育を行っています。来年度はぜひ行いたいと思っています。</p>

3. 収支の実績

(単位：千円)

		令和元年度 (前年決算額)	令和2年度 (現年決算額)	令和3年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	75,423	79,460	91,814	
	事業収入	0	0	0	
	合計	75,423	79,460	91,814	
支 出	人件費	61,056	64,315	75,805	
	事業費	9,101	9,577	10,234	
	事務費	5,210	5,231	5,409	
	その他	56	337	366	
	合計	75,423	79,460	91,814	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	○ 職員の退職、体調不良等による休暇取得などにより、一時的に業務計画に対して人員が不足している期間があったものの、人員の配置等を工夫することにより、事業に支障をきた

	<p>すことのない水準を維持している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職員研修については、新型コロナウイルスの影響により計画通りに実施できなかったものの、専門療法研修、さすまたの使用研修など、実施可能な範囲で研修が実施されている。 ○ 利用促進業務について、ラピオで実施される「子育て★知って楽しい！情報 Week」への初出展を企画するなど、事業の周知活動に積極的に取り組んでいる点は評価できる。
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全対策について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために園医と連携し、状況に応じて休園、時間短縮、感染防止策の実施など、迅速かつ適切に対応がとられており、高く評価できる。 ○ 不審者対策として新たにさすまた使用方法の研修が実施されるなど、利用者を守るための安全対策が十分に取られていると判断できる。 ○ 実効性のある避難訓練（非常用すべり台の利用体験、地震・火災訓練）が年2回実施されている。
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業計画にある「ふれあいまつり」は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、中部フィルハーモニー交響楽団のコンサートの開催、市民活動団体と連携した母親研修の開催など、状況に応じて新たな取り組みが実施されている点は評価できる。
サービスの質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者アンケートが年2回実施され、満足度（「満足」「概ね満足」の割合）は100%（前年99%）となっており、良好な結果であった。また、「（新型コロナウイルスの影響で）母親間の交流が少なくなっている」との意見に対して、感染対策を十分にとったうえで、母親研修や小規模での懇談会を実施するなど、アンケートの意見を踏まえて改善策が実行されている。
収支状況 及び 経費節減	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経費削減については、掲示板の活用や書類のデータ化により紙の使用量を減らすなど、消耗品の経費削減の取組が確実に実行されている。
その他 （緊急時の対応、 市の改善指示に対する 対応等）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス対策として、事業所からの情報発信を迅速に行うために、令和2年度より連絡網に一斉メール配信を導入するなど、状況に応じた創意工夫がなされている。 ○ 新型コロナウイルスの影響により、休園や時間短縮等の措置をとった期間に、個人懇談や相談支援を強化するなど、利用者のニーズに応じた取組が実施されている点は評価できる。